

令和 2 年度 墨田区立 業平小学校 経営報告書

令和 3 年 3 月 8 日

学 校 目 標	教職員が一丸となって「 独学自修 」の精神を基調とし、「 知・徳・体 」のバランスのとれた子どもの育成に当たるとともに、学ぶ喜びに満ちた楽しい教育活動を家庭・地域と一体となって推進し、「 地域の教育機関 」として地域・保護者から信頼される学校を目指す。
目 指 す 学 校 像	①子どもたちが誇りにする学校 ・一人一人が認められ、生きることの喜びと自信をもつことができる。 ②教職員が誇りにする学校 ・研究と研修を土台にして、教育者としての自信と意欲をもつことができる。 ③保護者・地域が誇りにする学校 ・地域・保護者から信頼され、業平小学校に子どもを預けてよかったと思うことができる。
目 指 す 子 供 像	◎ 進んで学ぶ子 ○ やさしい子 ○ 元気な子
目 指 す 教 師 像	公立学校の教職員であることを自覚し、児童・保護者や地域社会の人々の期待と信頼にこたえられる教師。

1 自己評価結果と学校関係者評価の状況

項目	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善策	自己評価について	改善策について
各教科等指導	学校は、子供に確かな学力を育てるために、分かりやすい授業の実施に努めているか。	A	教材研究を丁寧に遅くまで行うなど、ICT機器を活用して分かりやすい授業作りに努めている。一人一台タブレット端末を有効的に活用して、子供たちの確かな学力定着に努めていきたい。	A	A
	学校は、特別な支援を必要とする子供に対して、組織的に適切な支援を行っているか。	A	校内委員会を開くなど校内で組織的に適切な支援を行おうと努力している。引き続き担任、養護教諭、SCなどが連携をとり、情報を共有し、校内体制を整えながら一人一人の問題の解決に向けて、取り組んでいく。	A	A
	学校は、子供の将来の自立に向けた進路指導・相談活動に取り組んでいるか。	B	児童一人一人に親身になって指導し、相談にのっている。担任だけでなく、他の教員でも相談にのれるような関係を築くことができている。これからも、組織的に担任一人で抱えることなく、多くの職員で関わられるようにしていく。	A	A
	学校は、教員の指導力・授業力を高めるために組織的に取り組んでいるか。	B	コロナ禍で思うように教員同士の授業観察が思うようにできなかった。学年内での指導内容の統一など一定のぶれない指導を展開していった。ICT機器の活用等、新たな教育技術の獲得についての研修も実施していきながら、指導力・授業力を向上させていく。	A	A

様式 4

	<p>学校関係者評価委員会の意見等</p>	<p>○結果として、評価が出ていると思います。先生方の努力だと思っています。 ○教員が組織的に取り組んで頂いており、非常に評価させて頂いておられます。 ○コロナ禍で先生方のご苦勞が目に見えるような気がします。子供たちが元気で学べる環境作りをこれからもお願いしたい。</p>
--	-----------------------	--

項目	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善策	自己評価について	改善策について
生活指導等	学校は、子供の問題行動の予防や解決に組織的に取り組んでいるか。	B	校内委員会、生活指導朝会による情報共有をしていたが、指導の方向性を共通理解した。全員で同じ方向を向き、組織で対応することも確認できた。今後は、予防の手だてをさらに充実させる。自分の学年だけでなく、他学年のことに日頃から関心をもつことができるよう教員の意識を高めることは、今後も続けていく。	B	A
	学校は、子供が基本的な生活習慣を身に付け、望ましい人間関係を作るための心の教育を行っているか。	B	今年度も、基本的な生活習慣を整える取組は充実したと思える学年とそうでない学年があった。不十分な学年については、家庭と連絡を密に連携して、児童を取り巻く環境を全体的に変えていく工夫をしていきたい。また、引き続き道徳の授業に力を入れ、心の教育の充実を図っていく。人権意識を高め、自分も他人も大事にできるように授業を見直して進めていく。	B	A
	学校は、子供の安全を確保するための取組を行っているか。	B	月1回児童へ安全指導を行った。計画的に実施し、学校生活だけでなく、登下校中等に気を付けることを指導した。コロナ禍で登下校の見守り、校内安全点検などが実施できなかったが、見守りの保護者と連絡を取って対応することができた。校舎の補強が必要な場所が多く、区へは引き続き要望していく。	B	B
	学校は、子供や保護者からの意見や要望を把握し、教育活動の点検や改善に役立っているか。	B	昨年度、全体的に落ち着きがないという評価を受け、今年度は組織的に対応することで、若干落ち着きを取り戻してきた。今年度は、教育活動アンケートからも、学校からの情報発信が少ない、様子が分からないと評価を受けた。今後は、学校の様子が分かる写真や動画をHPにあげ、更新回数を増やしていくこととする。	B	B
	学校関係者評価委員会の意見等		○集まることはもちろん、登校すら出来ない時もありました。なので、委員会や集会などはしょうがないと思います。いろいろな事を新しく考えていただいて、子供たちの安全を最優先としていた事と思います。少し気になるとすれば、家庭内の事を学校で感じる事が難しいと思います。学校内より学校外の事が少し気にかかっています。 ○コロナ禍で保護者は学校内の状況が見えにくく、新しい方法の実施を検討して頂きたいと思えます。 ○現状が私たちには分からないことが多くあるが、先生方をはじめ学校はいろいろと工夫している様子です。家庭でも話をする機会が増えるとうれしいと思います。自宅で過ごす時間を大切にしてもらいたいです。		

様式 4

項目	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善策	自己評価について	改善策について
学校の管理運営	学校は、管理職の経営方針に基づき、組織的な教育活動・学校運営を行っているか。	A	独学自修の校訓を大切に学校長の経営方針を基に進めている。	A	A
	学校は、子供の実態に合わせた具体的な目標の設定及び評価を適切に行っているか。	B	児童・学年に応じた目標設定を行っているが、指導改善のための評価という意識を忘れないようにしたい。	B	B
	学校には、適切な教育活動が行える環境・設備等が整えられているか。	A	新しい生活様式に合わせた教室の環境に整えるため、全教室に扇風機を設置した。校内電話も全教室分設置し、適切な教育活動が行われるよう努力している。しかし、設備が古いために、円滑に進められない教育活動があったため、今後も区へ申請をし続けていく。	A	A
	学校関係者評価委員会の意見等	<p>○新しい生活様式で慣れない中、考え、手をつくしていただいていると思います。</p> <p>○児童別で目標を設定し、一步一步進めるご指導をお願いします。</p>			

項目	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善策	自己評価について	改善策について
家庭・地域連携	学校は、教育方針や日常の教育活動の様子などを分かりやすく伝えているか。	C	学校、学年通信を月1回発行していたが、コロナの影響を受け、学校公開が実施できなかったこと、地域や保護者に参観していただく行事もほとんどなかったことにより、学校での様子を地域や保護者への発信は少なくなった。今後は、学校の様子が分かる写真や動画をHPにあげ、更新回数を増やしていく。しかし、児童の様々な問題解決に向けて担任と保護者との連携は密にとれている。	B	B
	学校は、保護者や地域の理解や協力を得て教育活動を進めているか。	B	保護者や地域の方々は大変協力的である。PTAとの連携を続けていく。	B	B
	学校関係者評価委員会の意見等	<p>○これに関しては残念ではありますが、これをチャンスと見て「新しい生活様式」として、考え直したいと思います。</p> <p>○地域や保護者への情報発信も新しい方法が必要かと思います。また、PTAへの協力も遠慮なくおっしゃってください。</p>			

様式 4

2 令和元年度学校評価のまとめ

<学校関係者として>

「新しい生活様式」の中で先生方は、本当に大変だったと思います。私が普段見ている限りでは、近隣の子供たちは元気に明るく過ごしている様です。これは、各家庭でご家族とそして先生方ががんばっている証だと思います。どうぞ、ご無理はなさらず、お体には十分気を付けてください。

<業平小学校として>

◆家庭との連携の必要性◆

子供の良いところも、失敗してしまったところもみんなで共有し、育てていく。

- ・担任と保護者どちらからも連絡を密にする。
- ・学校と保護者と同一方向を向いて同じような言葉をかけていく。
- ・あきらめず何度も声をかけ、励まし続ける。

◆生活指導・学力向上◆

落ち着いた雰囲気、子供たちにとって楽しい授業をして、学力を高める。

- ・全員で業平ルールを徹底して、指導する。
- ・子供たちの学力向上のために、教員一人一人の授業力を高める。
- ・本物体験、問題解決型の学習を多く取り入れる。
- ・危機管理体制の整備を行い。学校全体で組織的に安全対策に努める。

◆情報発信◆

学校の教育活動の様子を学校便り、学年便りやホームページ等で発信する。

- ・保護者、地域に適切な情報を伝える。
- ・保護者会、面談を通して、より具体的に伝える。
- ・適切な時期に頼りを発行する。

☆オリンピック・パラリンピック教育☆

業平小学校が今までつないできた特色ある教育活動を、さらに充実させる。

来年度は、特色ある学校づくり研究協力校として発表がある。

- ・障がい教育・ボランティアマインドを育てる活動を充実させる。
- ・日本、国際文化理解教育を推進する。
- ・心豊かにボランティア活動を行う。
- ・さまざまなスポーツにかかわり、知る機会を通して、東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会を精一杯応援する。

以上の通り報告いたします。

墨田区立業平小学校 校長 山田 明 公印